

市民が困っている  
こんな時こそ

スーパーの特売品  
しか買わない

仕入れ値が上がっても  
価格転嫁できない

4月23日  
市政の選択

# 暮らし応援の市政を

値上げラッシュなのに  
賃金は上がらず

## 日本共産党

### 日本共産党

元立川相互病院  
総看護師長

# 田村

看護師として  
35年

# みつ子



看護師として35年  
平和・健康・安心の街に

看護師として35年、何よりも命を大切に、誰もが健康な生活を送ることができるよう援助の仕事をしてきました。みなさんと一緒に平和で、健康で、安心して住み続けられるまちづくりに全力を尽くします。

●1950年荒川区生まれ/小平市育ち ●都立北多摩高校、都立新宿高等看護学院を卒業後、立川相互病院に就職し、総看護師長を6年間務める。●現在、三多摩健康友の会武蔵村山支部の副支部長として市民の健康づくりに奔走。●趣味：洋裁、山歩き



←公式HP

## みなさんと力を合わせて実現します



(7期28年) もみやま市議から  
バトンタッチ!

### ● 学校給食の完全無償化を

コロナ交付金で期限付きの無償化を3年間で2回実施。4月から一般財源(2,200万円)で物価高騰分の負担を補助するなど、市民の運動と共産党の提案が市を動かしています。市内でも8自治体で開始する無償化は2.8億円で実施できます。

### ● 国保税・介護保険料の負担軽減

国保や介護の保険料が家計を圧迫しています。収入の約1割の国保税を納める世帯も出現する中、能力に応じた社会保険料となるよう負担軽減に取り組みます。

### ● 補聴器の購入

加齢性難聴は認知症との関連も指摘されています。平均購入価格が27万円と言われる補聴器の購入補助を求めます。

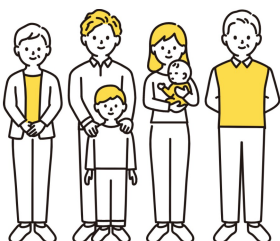
### ＼さらにチャレンジ！／

- 子どもの医療費完全無料
- 保健所体制の抜本強化
- 特養ホームの増設
- ケア労働者の処遇改善
- 多摩都市モラル早期延伸
- 家庭ごみ袋の負担軽減
- ヘリコプター騒音の解消
- 通学路の安全確保
- 有機フッ素化合物の究明

消費税5%減税と  
最賃1,500円

社会保障や  
教育・子育て充実

## 国の政治も暮らし最優先に転換を!



政治が国民の暮らしを応援すべき時に、5年間で43兆円の大軍拡に突き進む岸田政権。

4月の全国いっせいの自治体の政治戦で、政治の流れを変えましょう。武蔵村山でも頑張ります。

# 大軍拡・大增税 ストップ

その声を

日本共産党に託して下さい

# 市議会で違いクッキリ

自民・公明 vs 日本共産党  
特徴的な3つの違い

## 01. 国保税 値上げ案に議論もせず賛成の自民・公明 連続値上げストップ/多子減免に道開いた共産党

国民健康保険税の値上げ案に、自民党や公明党は質疑も議論も行わずに賛成し、5年連続の値上げとなりました。これに対し、共産党市議団は、①国や都の公費負担を増やすこと、②財政健全化計画を見直すこと、③均等割の多子減免の実施を繰り返し求めてきました。

その結果、2021年に国保税率の据え置きと18歳までの子どもの均等割・多子減免が他市に先がけて実現しました。これが力となり、昨年4月から就学前の全児童の均等割が国の制度として半額になり、対象が拡充されました。  
※ 多子減免：所得200万円以下世帯で2人目の均等割を半額、3人目は全額無料。

## 02. 介護保険料も財源を示して 値上げ幅を抑えた共産党

介護保険料の値上げ案も、自民・公明は質問することなく賛成。共産党市議団は、介護準備基金を活用して市民負担を抑えるように提案。基金4.5億円のうち約4億円を取り崩させ、値上げ幅を抑えることができました。

## 03. 市民と力あわせて「貧困調査」実現 子育て支援充実をリード

2018年、市民の運動と共産党市議団の提案で「子どもの貧困調査」（同じ時期に独自の調査を行ったのは本市を含んで9市のみ）で、実現。親の経済力で子どもの健康や学力、自己肯定感などに格差が生じている実態が可視化されました。これも力となり、武蔵村山市では、国保の多子減免や地域未来塾（無料塾）、期限付での学校給食無償化といった子育て支援策が、他市と比べて前進しています。

市民の声に

**YES!**  
共産党

**NO!**  
自民・公明

市民から出された陳情と審議結果（2019年～2022年）

陳情名	自民党	公明党	共産党	市民のチカラ	清流	結果
選択的夫婦別姓導入を求める陳情（19年12月）	×	○	○	○	○	採択
国保税の引き上げ中止を求める陳情（21年6月）	×	×	○	×	×	不採択
少人数学級を求める陳情（21年12月）	×	×	○	○	×	不採択
インボイス制度の中止を求める陳情（22年6月）	×	×	○	○	×	不採択
補聴器購入の公的補助を求める陳情（22年9月）	×	×	○	○	○	不採択
学校給食の無償化を求める陳情（22年12月）	×	×	○	○	○	不採択

※ 市民のチカラは2021年に、立憲村山との統一会派になりました。

夜間低空飛行や  
パラシュート降下など

# 「戦争国家づくり」絶対にダメ！

横田基地でも機能が強化され、基地周辺の住宅地の空が訓練場と化しています。自衛隊が米軍と一体となり、他国に攻め込む準備をしています。

軍事に軍事で構えば、横田基地が標的となるリスクも高まります。必要なのは平和を広げる外交力の強化です。



自民党・公明党政権は43兆円規模の軍事費拡大に突き進んでいます。「専守防衛」をかなぐり捨て「戦争国家づくり」へと暴走し、社会保障・教育・暮らしの予算を切り詰め、さらなる大増税を押し付けようとしています。日本共産党は、憲法・平和・暮らしを守るために全力をあげます。

4月 武蔵村山の選択

日本共産党の3人に託してください。